

函館市子ども会議

概要・意見書

函館市子ども未来部子ども企画課 2025.11

1 函館市子ども会議の概要

① 函館市子ども会議について

函館市子ども会議は、子どもたち自身が、子どもに関する施策やまちづくりに関すること等について話し合い、意見発表することで社会参加してもらうことを目的としています。

② 会議日程・開催場所

日時：令和7年10月25日（土）10：10～12：10

場所：グランディールイチイ2階 まるる場（函館市美原1丁目3番1号）

③ ファシリテーター

本田 真大 氏

北海道教育大学函館校教授

（博士（心理学）、公認心理師、臨床心理士、学校心理士スーパーバイザー）

④ サポーター

小山内 あかり 北海道教育大学函館校4年

小松 日菜子 北海道教育大学函館校4年

安川 陽鞠 北海道教育大学函館校3年

宮本 樹 北海道教育大学函館校3年

⑤ 参加者

小学生・中学生（小学4年生～中学3年生） 6名が参加しました。

⑥ 参考

「函館市子ども条例」（平成28年4月1日施行）

この条例は、子どもや子育て家庭の支援に関する理念条例であり、市の責務や保護者、学校、住民、事業者の役割を明らかにするとともに、市の施策の基本となる事項を定めています。

>>第18条（子どもの社会参加）

市は、子どもに関する施策について子どもが意見を表明できるようにするなど子どもが社会参加をする機会を設けるよう努めます。

「子ども基本法」（令和5年4月1日施行）

子どもの権利の保障や子どもの意見表明・社会参画の機会の確保、子どもの意見を反映する措置を講じることなどが規定されております。

>>第11条（子ども施策に対するこども等の意見の反映）

国及び地方公共団体は、子ども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該子ども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

2 函館市子ども会議の開催

令和7年度函館市子ども会議は、ファシリテーターの進行のもと、大学生のサポートを受けながら、テーマに沿ってグループワークを行い、意見をまとめて市に報告しました。

1 若者と子どもの自己紹介

- 各グループで、野菜や果物のぬいぐるみを使用し「どこまで食べられるか、どうやったら食べられるか（捨てるところを減らせるか）」意見を出し合うほか、好きな野菜、果物など自由に会話する。

2 函館市の課題の共有

- 市職員から、ごみの減量化が大切な理由や函館市のごみの現状、焼却炉の工事予定期間について、スクリーンを活用しながら参加者に説明し、理解を深める。

3 グループで話し合いを通して意見を深める

- ごみの分類について、分類表とごみのイラストが記載されたシールを活用し、グループで話し合いながら分類し、函館市家庭ごみの出し方の手引きを見ながら答え合わせを行う。
- ごみの分別・減量が難しい理由について考え、解決に向けたテーマを決める。
- 使用済みの折り紙や画用紙を加工して模造紙に飾り付けをする（捨てずに使う）。
- 大学生が司会を行い、自分たちにできること、函館市にお願いしたいことについて、積極的に参加者の意見を引き出し、具体的な行動の形にしてまとめ、模造紙に記入する。

4 函館市への意見表明

- 各グループで作成した模造紙を、市職員を含む参加者全員で順番に確認し、意見交換する。

3 函館市子ども会議の様子

1 開会　流れの説明



2 函館市の課題の共有



3 意見交流（1）



4 意見交流（2）



5 意見交流（3）



6 意見のまとめ



函館市子ども会議

意見発表内容

※一部、文言等に修正を加えています。

グループ1

ごみを減らすために考える問題

○ごみの分別が難しくてできないことが問題

私たちにできること

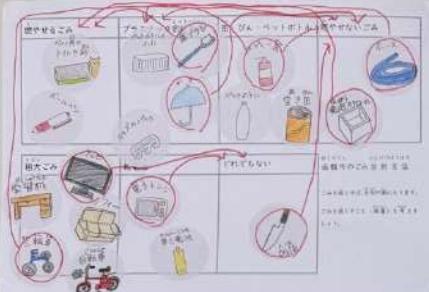
- ・ごみを分別しやすくなるように、紙とかに書いてかべにはる
- ・分別する際に親に聞く
- ・物はつかえなくなるまでつかう
- ・マイバックをつかう
- ・いらない物を買わない
- ・ごみの分別方法や現状など、ごみに関することを知ろうとする

函館市にお願いしたいこと

- ・道とか店の中にゴミ箱をふやしてほしい
- ・ゴミ箱にゴミの種類の絵を書いてほしい
- ・よびかけをする
- ・マイバックを配ってほしい

グループ1 意見交換まとめ

函館市のごみ問題を考えよう



ごみを減らすことを 難しくしてできないから	どうぞいい から	他の人がやってくれるから	やつても簡単がないから
ごみを減らすことを 難しくしてできないから	めんどくさから	他の人もやってないから	されはめてくれないから
ごみを減らすことを 難しくしてできないから	めんどくさから	他の人もやってないから	やんなくすも難はないから

ごみを減らすために考える問題

ごみのぶんべつが難しくてできないから。

私たちにできること

紙とかに書いてかべにほる。 まいばっくをつかう

親に聞く。

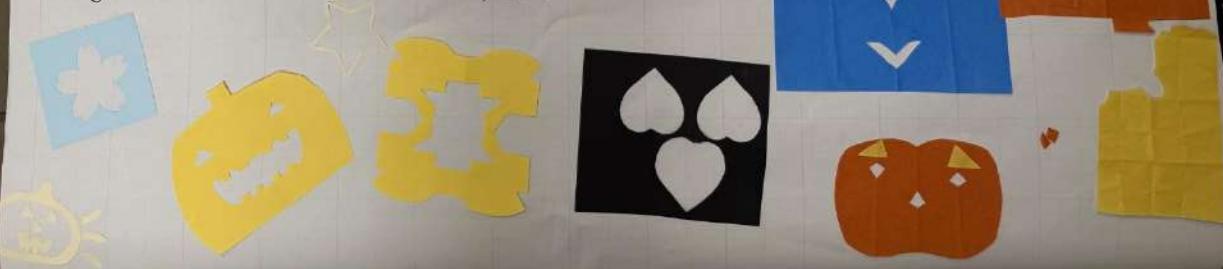
つかえなくなるまでつかう。 知らない物を買わない。

函館市にお願いしたいこと

道とか店の中にゴミ箱をひがしてほしい。

ゴミ箱にゴミの種類の絵を書いてほしい。

よびかけをする。マイバックを配こほしい。



グループ2

ごみを減らすために考える問題

○プラスチックごみを減らし、ストローやフォークなどを紙や木材に変えるほか、使った後に食べられるものにする

私たちにできること

- ・プラスチックゴミを再利用する
- ・分別方法などを知る
- ・実際に紙や木材でできた製品を使う
- ・周囲の人たちに伝えていく

函館市にお願いしたいこと

- ・学校でゴミについて考える時間を設けてほしい
- ・ゴミの分別化を努力義務にしてほしい（意識をしてもらいたい）
- ・ゴミの分別することで何に再利用されるかを明記してほしい

グループ2 意見交換まとめ

函館市のごみ問題を考えよう

ごみを減らすことができる	どうでもいい	他の人がやってくれるから	やっても意味がないから	やさしくないから
ごみを減らすことができる 理由は……から	<input checked="" type="radio"/>			

ごみを減らすことができないから	めんどうだから	他の人もやってないから	だれもほめてくれないから	やるなくても罰はないから
めんどくさいから	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

ごみを減らすために考える問題

- ・プラスチックゴミを減らす
- ・ストロー・フォークなどを紙や木材に変える、使って食べれるようにする

私たちにできること

- ・プラスチックゴミを再利用する!
- ・分別方法などを知る。
- ・実際に紙や木材の製品を使う。
- ・周囲の人たちに伝えていく。

函館市にお願いしたいこと

- ・学校でゴミについて考える時間を設けてほしい。
- ゴミの分別化を努力義務にしてほしい。(意識を(して)もらいたい)
- ・ゴミの分別することで何に再利用されるかを明記してほしい

